

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会は2019年度、(公財)日本陸上競技連盟規則及び(公社)日本マスターズ陸上競技連合規定を準用して実施するほか、大会申し合わせ事項を適用し、運営します。

2. 選手の受付は、メインスタンド内にて行います。(プログラム等を受けること)

(メインスタンド内は、スパイクでの出入りは禁止です。トイレの利用についてもスパイクは禁止です。)

3. 開会式について 8:00~

(1) 選手は、全員参加すること。

(2) 開会式は競技用服装とする。

4. 選手の招集方法は、次のとおりです。

(1) 選手の招集場所は、会場図の選手招集所において行います。

(2) 招集完了時刻は、競技開始時刻の、トラックは15分前、フィールドは、20分前とする。

(3) 招集完了後、競技者係の誘導により移動する。

(4) 招集(コール)は、競技者自身が行うこととします。

(5) 他種目と重複する場合は、競技者係に届け出ること。

(6) 招集完了時刻に遅れた者は、棄権と見なす。

5. トラック競技においては、レーンナンバーカードを競技者係より受け取り、各自で右腰部に取り付けること。競技終了後は直ちに競技者係に返却すること。

6. 競技について

(1) 競走競技では、『ON YOUR MARKS』、『SET』の言葉を用いる。

(2) 競走競技の不正スタートは、2回目以降の不正スタートした競技者は、すべて失格とする。

(3) トラック競技の走路順、フィールド競技(跳躍関係)試技の順については、プログラム記載通りとします。投てき競技については、用器具の関係上大会総務が指定した順とします。

(4) 走幅跳・三段跳の踏切板は、各年齢を考慮し跳躍審判主任の状況判断により砂場までの距離を決定します。踏切板のない時は、白線を引いて踏切板とします。(踏切板の距離は、各自申告して下さい)

(5) 走高跳最初の高さは、跳躍審判主任の状況判断により決定します。

(6) 距離を競うフィールド競技の試技数については、ベスト8を決めるまでは、3回以内とする。ただし決勝については、試技数1回とする。

7. 長距離種目に制限時間を設けます。

制限時間を適用する場合~最後まで歩かずに完走する事。(歩いた場合は、制限時間を適用し制限時間過ぎた場合は、新しい周回に入れません)

(5,000m30分・3000mW30分)